



ドキドキハロウィン 2015

10月31日、市街地において「ドキドキハロウィン 2015」が開催されました。

当日は、魔女やお化けなどの衣装をした参加者が銀座通りをパレードしたほか、商店街のお店にお菓子をもらいに回るトリックオアトリートを行うなど、市街地はハロウィン一色となりました。

また、中野陣屋前広場公園では衣装コンテストも行われ、参加者は手の込んだメイクや衣装をステージで披露するなど、普段の生活では味わえないような雰囲気を楽しんでいました。



もみじ祭り

11月8日、道の駅「ふるさと豊田」において、中野市合併10周年記念「2015もみじ祭り」が開催されました。会場では、地元特産品の販売のほか、竹とんぼ作りや土人形絵付け体験などが行われ、大勢の人で賑わいました。当日は小雨が降る肌寒い一日になりましたが、ふるさと太鼓・もみじ太鼓の皆さんによる寒さを吹き飛ばすような迫力ある太鼓演奏や、振る舞われたきのこ汁が来場者の心と体を温めていました。



差別をなくす市民集会

11月18日、市民会館ホールにおいて、「2015差別をなくす市民集会」を開催しました。

当日は、戦場カメラマンの渡部陽一^{わたなべ しょういち}さんを講師に迎え、戦争の悲劇とそこで生活する人々の生きた声を、身振り手振りを交えながら独特な語り口で講演いただきました。

また、最後には、行政と市民が一体となり「差別のない人権のまち」を創ることを集会宣言とし閉会しました。



中野えびす講・産業展

11月14日・15日の2日間、市街地を中心に「中野えびす講・産業展」が開催されました。

初日には、七福神や紅白の衣装を身にまとった「100人えびす大行進」が行われ、道中で菓子や福引の抽選券を振りまく「大盤振る舞い」が行われると、集まった人たちが一生懸命に手を伸ばしていました。

また、市街地では七五三行列やダンスフェスが行われたほか、産業展の会場では、工業製品の展示や、姉妹都市である北茨城市の「あんこう鍋」の販売などが行われ、各会場は大勢の人で賑わいました。



保育園に絵本・紙芝居を寄贈

11月26日、豊井保育園において、絵本と紙芝居の贈呈式が行われました。

これは、絵本などの充実による子どもたちの情操教育のため、「中野ロータリークラブ」の皆さんから市内の市立保育園11園に贈呈されたものです。

当日は、贈呈式の後に、保育士による紙芝居の読み聞かせが行われ、園児たちは目を輝かせながら楽しそうにお話を聞いていました。



辰野勇氏まちづくり講演会

11月21日、豊田文化センターにおいて、中野市合併10周年記念事業「辰野勇氏まちづくり講演会」を開催しました。当日は、アウトドア総合ブランドのモンベルグループ代表で、登山家の辰野勇さんに、エコツーリズムと地域活性について講演いただきました。また、講演会に先立ち、信越自然郷とモンベルグループが相互協力により地域を盛り上げていくことを目指すモンベルフレンドエリア登録の調印式が行われました。